

2020年6月4日

厚生労働大臣 加藤 勝信様

新型コロナウイルス感染症の拡大等に備えるため
インフルエンザワクチン対策の抜本的強化を求める意見書

全国保険医団体連合会
地域医療対策部
医科部長 中島 幸裕

前略 国民医療の確保と充実に向けた日頃のご尽力に敬意を表します。

さて、ここ数年インフルエンザワクチンが足りない状況が続いており、当会では毎年のようにインフルエンザワクチン不足の解消と、ワクチンの安定供給体制の早急な構築を求めてきたところです。

しかしながら、厚生労働省は有効な対策を行ってきたとは言えません。

特に今年は、秋以降に新型コロナウイルス感染症拡大が日本を襲う可能性があります。また、数年は収束しない可能性もあります。

インフルエンザは、新型コロナウイルス感染症と同様の症状を呈することから、極力多くの方がインフルエンザワクチンの予防接種を受けておくことが重要です。

こうしたことから、当会では、新型コロナウイルス感染症対策とともに、下記の対策を取られるよう、要望します。

記

- 一、必要なワクチン接種が受けられるよう、今年こそ、国の責任でワクチン供給偏在への対策を講じてください。
- 一、インフルエンザワクチン接種開始時期の前倒しを行ってください。
- 一、定期接種となっている高齢者等に対するインフルエンザワクチン接種費用について、全額公費負担としてください。